



2021年5月18日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 米 浩
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 藤岡 健
(TEL. 03-3664-9665)

「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行」及び「第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行」に関する資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2019年11月20日に公表いたしました「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行条件等の決定に関するお知らせ」及び2020年7月28日に公表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行に関するお知らせ」において開示いたしました資金使途につき、それぞれ下記のとおり変更いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行

1. 変更の理由、経緯

当社は、2019年11月20日に公表いたしました「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行条件等の決定に関するお知らせ」に記載しておりますように、①MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用、②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用、並びに③MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用のための資金の確保を目的として、第15回新株予約権（行使価額修正条項付）を発行して資金調達を行いました。

しかし、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が当初行使価額（301円）を下回って推移したため、実際の資金調達額が当初の調達予定額938百万円を202百万円下回る736百万円（差引手取額）となりました。また、②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用の見積額が増加しました。この結果、③MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用には充当せずに、①MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用に予定通り40百万円を充当した残りの資金696百万円については、見積額が増加した②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用に全額を充当し、③MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用については充当す

ることを取りやめることといたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下の通りとなっております。

変更前

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用	40	2019年12月～2020年2月
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用	625	2020年1月～2021年8月
③ MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	273	2019年12月～2020年12月
合計	938	

変更後（変更箇所は下線で表示しております。）

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用	40	2019年12月～2020年2月
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用	<u>696</u>	2020年1月～2021年8月
③ MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	<u>二</u>	2019年12月～2020年12月
合計	<u>736</u>	

3. 今後の見通し

本件変更が当期の業績に与える影響は軽微であります。

II. 第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行

1. 変更の理由、経緯

当社は、2020年7月28日に公表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）の発行に関するお知らせ」に記載しておりますように、①マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強、②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用、及び③MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用のための資金の確保を目的として、第三者割当による新株式及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）を発行して資金調達を行いました。

第三者割当による新株式については、1株につき296円で発行され当初の予定通り200百万円を獲得できました。一方、行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）については、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が当初行使価額（296円）を下回って推移したため、実際の資金調達額が当初の調達予定額929百万円を202百万円下回る727百万円（差引手取額）となりました。

一方で、①マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強については、資金計画の見直しやソフトウェア導入等の対応によって、予定していた480百万円から大幅に削減することに成功し、実際の充当額は132百万円に留まりました。ただし、資金計画の見直しやソフトウェア導入等の対応に時間を要したことから、支出時期を当初の「2020年8月～2020年12月」から「2020年8月～2021年3月」に変更いたしました。また、②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用の金額は当初の見積りよりも大きくなりました。それに伴い、増加金額を含めてあらためて資金計画を見直した結果、支出時期も当初の「2021年1月～2021年6月」から「2021年1月～12月」に変更いたしました。

その結果、第三者割当による新株式で調達した200百万円及び行使価額修正条項付第17回新株予約権（行使指定条項付）で調達した727百万円の合計である927百万円から、①の実際充当額である132百万円を控除した残額795百万円については、必要金額が当初の見積りよりも大きくなった②MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用に全額充当し、③MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用については充当することを取りやめることといたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下の通りとなっております。

変更前

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	480	2020年8月～2020年12月
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	418	2021年1月～2021年6月
③ MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	220	2021年1月～2021年12月
合計	1,118	

変更後（変更箇所は下線で表示しております。）

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	<u>132</u>	<u>2020年8月～2021年3月</u>
② MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	<u>795</u>	<u>2021年1月～2021年12月</u>
③ MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	二	2021年1月～2021年12月
合計	<u>927</u>	

3. 今後の見通し

本件変更が当期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上